

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 炎症性腸疾患における ADAMTS13 による抗炎症効果の検証とメカニズムの解明研究</p>
	<p>●研究の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院において、2010年～2026年までの期間に炎症性腸疾患の診断で通常診療により外科・内科治療を受けられた方 50名 ・当院において、2010年～2026年までの期間に炎症性腸疾患以外の診断で通常診療により外科治療を受けられた方 50名 ・健康ボランティアの方 50名
	<p>●研究の目的</p> <p>潰瘍性大腸炎やクローン病などに代表される炎症性腸疾患の病態に関しては依然として不明な点が多く、難治性疾患の一つとされています。</p> <p>炎症性腸疾患の特徴的な所見として、炎症に伴い血栓が形成されることが知られています。粘膜・粘膜下層に存在する血管に血栓閉塞が生じると、粘膜虚血が起き、炎症性腸疾患の病勢が増悪する可能性があると考えられています。</p> <p>本研究は、von Willebrand Factor と ADAMTS13 に着目して、炎症性腸疾患と血栓形成の病態に関するメカニズムを検証することを目的とします。</p>
	<p>●研究の期間</p> <p>研究機関の長による実施承認日から 2026年10月まで</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法</p> <p>この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <p>情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、等</p> <p>試料：血液、手術・生検検体</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 外科学第二講座 阪田麻裕</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 外科学第二講座 阪田麻裕</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 外科学第二講座 担当者： 阪田麻裕 平日（9：00～17：00） TEL： 053-435-2279（外科学第二講座） 夜間・休日</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

053-435-2695

(浜松医科大学医学部附属病院 5階西病棟)

E-mail: mayu-s@hama-med.ac.jp